

# 提案の概要 (三重県提案:「食」で拓く三重の地域活性化)

■ 三重県は「食」に関するポテンシャルが非常に高い地域です。例えば、ブランド牛である「松阪牛」、「伊賀牛」や、伊勢志摩の海産物など豊富な食材に恵まれています。また、高校生レストランで有名な県立相可高校などで人材の育成が進んでいるほか、海女漁などの伝統的な漁法、伊賀焼、萬古焼の器など食に関する多様な文化も引き継がれています。さらには、日本を代表する食関連企業も数多く立地しており、こうした三重の「食」のポテンシャルを最大限に引き出し、地域経済の活性化、雇用の拡大につなげていくため、多様な主体間のネットワークを形成し、地域の特色を活かした取組を展開します。

## 「食」のクラスター形成に向けた取組

「食のサミット」、「ミラノ国際博覧会」、「全国菓子大博覧会」による三重の「食」の魅力発信  
「食」のクラスター形成を促進する企業誘致策  
「食」に係る人材の集積に向けた取組

多様な主体との連携による商品開発や認知度向上による市場拡大等の取組を展開。国内外における三重の「食」のプレゼンスを高めるとともに、それらの成果を食関連産業の工場、人材育成機関や研究開発機関などの集積につなげ、「食」に関する新たなクラスターの形成を図る。

## 連携(つながり)で取り組む新たな商品・ビジネス・価値の創造

「みえフードイノベーション・プロジェクト」の展開

地域が有する農林水産資源等を活用した新商品や新メニューの開発

みえ「ジビエ」の需要拡大に向けた新商品開発と安全性や品質確保の取組

野生獣肉の利活用を促進するため企業等との連携

産学官が一体となった「みえ食発イノベーション創造拠点」の取組

三重大学・県工業研究所と食品関連企業との連携によりドライフルーツやアイスの新たな製法を開発

ICT・ビッグデータを活用した新たなビジネスモデルの創出

農業大国オランダと他地域の農地や植物工場にセンサを配置し農業関連の各種データを集積するビッグデータプラットフォームを構築

統合型医療情報データベースを活用した高付加価値食品等の研究開発

ヘルスケア産業の医療情報データベースを活用した高付加価値食品等の研究開発

「食」のローカル・トゥ・ローカルの取組

北海道の地域資源(規格外大豆等)に三重県のものづくり技術(爆砕技術)を活用することで高付加価値飼料を開発

## 連携(つながり)で取り組む三重のブランド(情報発信)力向上

三重県営業本部による官民あがりの営業活動

畜産業・水産業の成長産業化と農産物の高付加価値化の取組等

日本の伝統文化、職人の技を駆使した商品と和食文化のプロモーションイベントの実施

産学官金が一括となった国際展開プラットフォームの構築

三重県産品のブランド力を高めるため、官民あがりの営業活動に加え、三重県ブランドの更なるブラッシュアップや県内産品の新たな販路開拓、ターゲットを明確にした戦略的な海外展開を総合的に推進する。

みえフードイノベーション  
「みえックスキャンディ」



「食」で拓く三重の地域活性化



みえフードイノベーション  
「みえの調味料」



# 提案概要

## 三重県鳥羽市

健康、伝統をテーマとした「鳥羽マルシェ」食のしあわせ循環創造事業

